

4. 各報告書の詳細

分析結果報告書確認表示用の画面は**A 4用紙印刷**を考慮し、小さめにレイアウトされています。

入力方法の共通的な部分は、前記の表3-4.1「各分析結果報告書の共通事項」として、「分析主担当者」、「分析主担当者の経験年数」、「分析主担当者の実績（年間の分析試料数）」、「分析（主）担当者以外の分析結果の確認」の入力方法を示しています。

また、以下に共通的な事項（注意点等）を示します。

○分析条件等

適用している分析方法や分析機器等によっては、記入が不要な部分、記入が難しい部分等があると考えられますので、そのような場合には記入する必要はありません。

複数回測定（併行測定）では、1回目の分析条件を記入します。ただし、試料の指示値（吸光度等）等については、測定回数分を記入する場合があります。

○指示値

指示値としては、吸光度、ピーク高さ、ピーク面積等があり、内標準法ではその比（例えばピーク面積比）もあり、またそれらの比例値もあり、このように各種のものがあります。記入にあたっては、いずれの値も可能です。

ただし、指示値の記入欄には、検量線の最高濃度、試料、空試験の3つ（3か所）あり、記入にあたっては3か所とも同じ種類（単位）のものとしてください。

○分析結果（数値の丸め方）

分析結果については、有効数字3桁としています。数値の丸め方はJIS Z 8401に従ってください。

4-1 分析結果報告書 [1]

分析結果報告書[1]の入力方法の詳細を記します。

表4-1 水質試料1（カドミウム）（分析結果報告書 [1]）

分析結果	数値（半角）入力。測定回数3回の結果を記入。 単位：mg/L。実施要領5の希釈方法に従って共通試料2を水で10倍希釈して調製した分析用試料中の濃度（mg/L）を記入。 「検出下限値以上」又は「検出下限未満での検出下限の値」欄のうち該当する一方に記入。
・分析結果（検出下限値以上） （検出下限未満での検出下限の値）	検出下限値以上では、JIS Z 8401によって数値を丸めて分析結果を有効数字3桁で記入。 検出下限値未満では、検出下限値を有効数字1桁で記入。
（注）検出下限：例えば、空試験を行ってそれらの測定値の標準偏差の3倍相当として求める。	分析結果は必須項目。確定する際に、値の入力が行われていない場合は、必須項目という条件で、「分析結果（検出下限値以上または検出下限未満での検出下限の値）は必須項目です。該当する値を入力して下さい。」というエラーメッセージが表示される。

開始月日 終了月日	コンボボックスより選択。 開始日は分析（すべての操作を含む）を開始した日。 分析終了日は定量操作を完了した日。
分析方法 使用した水	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、具体的な分析方法を記入。
分析条件	3回の併行測定のために下記は1～3回で概略同様であり、1回目を記入する。ただし、試料の指示値（吸光度、ピーク高さ等）については、3回分を記入する。
<前処理> 試料量 準備操作（前処理） 前処理後の量（定容量）	数値（半角）入力。単位：mL。 コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、具体的に記入。 数値（半角）入力。単位：mL。
<溶媒抽出等> 準備操作（溶媒抽出等） 前処理後の溶液の分取量 （溶媒抽出）溶媒の種類 キレートの種類 抽出回数 溶媒の使用量 （イオン交換樹脂）種類 （キレート樹脂）種類1、2 メーカー、型式 pH調節 流下 方法 流速 溶出 種類 濃度 量 回数 最終の定容量 最終溶液（試験溶液）の液性	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、具体的に記入。 数値（半角）入力。単位：mL。 コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、具体的に記入。 コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、具体的に記入。 数値（半角）入力。単位：回。 数値（半角）入力。1回当たりの使用量。単位：mL。 具体的に記入。 コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、具体的に記入。 具体的に記入。 数値（半角）入力。単位：なし。 コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、具体的に記入。 数値（半角）入力。単位：mL/分。 コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、具体的に記入。 数値（半角）入力。単位：mol/L。 数値（半角）入力。単位：mL/回。 数値（半角）入力。単位：回。 数値（半角）入力。単位：mL。 コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、具体的に記入。

<p><原子吸光法></p> <p>試験溶液の希釈 希釈倍率 電気加熱法 注入量 注入の方法 原子化の方法 モディファイアの添加 原子吸光装置バックグラウンド補正</p>	<p>希釈倍率入力。希釈しない場合には、「1」。 数値（半角）入力。単位：μL。 コンボボックスより選択。 コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、具体的に記入。 コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、具体的に記入。 コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、具体的に</p>
<p><ICP発光分光分析法></p> <p>試験溶液の希釈 希釈倍率 装置 型式 バックグラウンド補正 超音波ブライザーの使用 測定時間 測定波長</p>	<p>希釈倍率入力。希釈しない場合には、「1」。 コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、具体的に記入。 コンボボックスより選択。 コンボボックスより選択。 数値（半角）入力。単位：秒。 数値（半角）入力。単位：nm。</p>
<p><ICP質量分析法></p> <p>試験溶液の希釈 希釈倍率 ICP質量分析計 メーカー型式 スペクトル干渉の低減又は補正 質量分析計 コリジョン・リアクションセル 使用ガス ガスの流量 水素化物発生 補正式による補正 その他 超音波ネブライザーの使用 測定時の分解能 積分時間 質量数</p>	<p>希釈倍率入力。希釈しない場合には、「1」。 コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、具体的に記入。 コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、具体的に記入。 コンボボックスより選択。 コンボボックスより選択。 数値（半角）入力。単位：mL/分。 コンボボックスより選択。 コンボボックスより選択。 補正式による補正を行った場合には、補正前と補正後の指示値について「イオンカウント値」等、数値（半角）入力。 コンボボックスより選択。「行う」を選んだ場合には、具体的に記入。 コンボボックスより選択。 数値（半角）入力。単位：なし。 数値（半角）入力。単位：秒。 数値（半角）入力。単位：なし。</p>
<p><検量線の作成等></p> <p>定量方法 方法</p>	<p>コンボボックスより選択。</p>

内標準物質の種類	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、具体的に
検量線の作成 作成点数	に記入。
作成範囲 最小濃度	数値（半角）入力。整数。
最大濃度	数値（半角）入力。分析装置で測定する溶液中の濃度（mg/L）を記入。「ゼロ（0）」は含めない。
最高濃度の指示値	数値（半角）入力。単位：最小濃度と同じ。
試料 指示値	数値（半角）入力。「試料の指示値」、「空試験の指示値」と同じ単位で記入。
空試験 指示値	数値（半角）入力。「検量線最高濃度の指示値」と同じ単位で記入。
分析実施にあたっての留意した点及び問題と感じた点	150文字以内で簡潔に記入する。
計算式	150文字以内で記入する。原則として、分析条件に記載されている用語を用いて記入する。 例（カドミウム：電気加熱原子吸光法） $\text{分析結果 (mg/L)} = (\text{試験溶液中の濃度 mg/L} - \text{空試験の濃度 mg/L}) \times \text{試料溶液の量 (mL)} \div \text{試料量 (mL)}$

4-2 分析結果報告書 [2]

分析結果報告書[2]の入力方法の詳細を記します。

表4-2 水質試料1（鉛）（分析結果報告書 [2]）

表4-1を参考に記入する。

4-3 分析結果報告書 [3]

分析結果報告書[3]の入力方法の詳細を記します。

表4-3 水質試料1（砒素）（分析結果報告書 [3]）

分析結果	数値（半角）入力。測定回数3回の結果を記入。 単位：mg/L。実施要領5の希釈方法に従って共通試料2を水で10倍希釈して調製した分析用試料中の濃度（mg/L）を記入。 「検出下限値以上」又は「検出下限未満での検出下限の値」欄のうち該当する一方に記入。
・分析結果（検出下限値以上） （検出下限未満での検出下限	検出下限値以上では、JIS Z 8401によって数値を丸めて分析結果を有効数字3桁で記入。

の値)	検出下限値未満では、検出下限値を有効数字1桁で記入。
(注) 検出下限 : 例えば、空試験を行ってそれらの測定値の標準偏差の3倍相当として求める。	分析結果は必須項目。確定する際に、値の入力が行われていない場合は、必須項目という条件で、「分析結果(検出下限値以上または検出下限未満での検出下限の値)は必須項目です。該当する値を入力して下さい。」というエラーメッセージが表示される。
開始月日 終了月日	コンボボックスより選択。 開始日は分析(すべての操作を含む)を開始した日。 分析終了日は定量操作を完了した日。
分析方法 使用した水	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、具体的な分析方法を記入。
分析条件	3回の併行測定のために下記は1~3回で概略同様であり、1回目を記入する。ただし、試料の指示値(吸光度、ピーク高さ等)については、3回分を記入する。
<前処理(試験溶液の調製)> 試料量 前処理 酸の量 硝酸等 その他 装置 前処理後の定容量	数値(半角)入力。単位:mL。 コンボボックスより選択。 数値(半角)入力。単位:mL。使用しない場合は「0」。希釈した酸、例えば硫酸(1+1)を使用した場合には、硫酸に換算して記入。 具体的な酸の名称と使用量を記入。 コンボボックスより選択。 数値(半角)入力。単位:mL。
<水素化物発生法の子備還元等> 試験溶液の分取量 予備還元を試薬 塩酸 よう化カリウム等 その他 予備還元の時間 予備還元の温度 予備還元の溶液(定容量) 還元剤 水素化物の導入方法 水素化物の導入方法(連続式)	数値(半角)入力。単位:mL。 コンボボックスより選択。「1.使用する」を選択した場合には、その溶液濃度(mol/L)及び添加量(mL)を記入。 コンボボックスより選択。「1.使用する」を選択した場合には、その溶液濃度(g/L)及び添加量(mL)を記入。 具体的な試薬の名称と使用量を記入。 数値(半角)入力。単位:分。 コンボボックスより選択。温度(分)を数値(半角)入力。 コンボボックスより選択。量(mL)を数値(半角)入力。 コンボボックスより選択。()内には具体的に記入。 コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、具体的に記入。 コンボボックスより選択。()内には具体的に記入。
<原子吸光法、ICP発光分光分析法>	

原子吸光装置 水素化物の導入 バックグラウンド補正 測定波長	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、具体的に記入。 数値（半角）入力。単位：nm。
ICP発光分光装置 型式 バックグラウンド補正 超音波ブライザーの使用 測定時間 測定波長	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、具体的に記入。 コンボボックスより選択。 コンボボックスより選択。 数値（半角）入力。単位：秒。 数値（半角）入力。単位：nm。
<ICP質量分析法> 試験溶液の希釈 希釈倍率 ICP質量分析計 メーカー型式 スペクトル干渉の低減又は補正 質量分析計 コリジョン・リアクションセル 使用ガス ガスの流量 水素化物発生 補正式による補正 その他 超音波ネブライザーの使用 測定時の分解能 積分時間 質量数	希釈倍率入力。希釈しない場合には、「1」。 コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、具体的に記入。 コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、具体的に記入。 コンボボックスより選択。 コンボボックスより選択。 数値（半角）入力。単位：mL/分。 コンボボックスより選択。 コンボボックスより選択。 補正式による補正を行った場合には、補正前と補正後の指示値について「イオンカウント値」等、数値（半角）入力。 コンボボックスより選択。「行う」を選んだ場合には、具体的に記入。 コンボボックスより選択。 数値（半角）入力。単位：なし。 数値（半角）入力。単位：秒。 数値（半角）入力。単位：なし。
<検量線の作成等> 定量方法 方法 内標準物質の種類 検量線の作成 作成点数 作成範囲 最小濃度 最大濃度 最高濃度の指示値 試料 指示値	コンボボックスより選択。 コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、具体的に記入。 数値（半角）入力。整数。 数値（半角）入力。原子吸光法等で測定する溶液中の濃度(mg/L)を記入。「ゼロ(0)」は含めない。 数値（半角）入力。単位：最小濃度と同じ。 数値（半角）入力。「試料の指示値」、「空試験の指示値」と同じ単位で記入。 数値（半角）入力。「検量線最高濃度の指示値」と同じ単位で記

空試験 指示値	入。 数値（半角）入力。「検量線最高濃度の指示値」と同じ単位で記入。
検出下限	数値（半角）入力。単位：mg/L。
分析実施にあたっての留意した点及び問題と感じた点	150文字以内で簡潔に記入する。
計算式	150文字以内で記入する。原則として、分析条件に記載されている用語を用いて記入する。記入例は、水質試料1（カドミウム）を参照する。

4-4 分析結果報告書 [4]

分析結果報告書[4]の入力方法の詳細を記します。

表4-4 水質試料1（亜鉛）（分析結果報告書 [4]）

表4-1を参考に記入する。

4-5 分析結果報告書 [5]

分析結果報告書[5]の入力方法の詳細を記します。

表4-5 水質試料2（ノニルフェノール及び4-t-オクチルフェノール）
（分析結果報告書 [5]）

測定回数	1～5の整数（半角）入力。分析用試料のはかり取りからGC/MSの測定までの一連の操作を行った回数（併行測定の回数）を記入。
分析結果（ノニルフェノール及び4-t-オクチルフェノール）	実施要領5の希釈方法に従って共通試料2を水で1000倍希釈して調製した分析用試料中の濃度（ $\mu\text{g/L}$ ）を記入。数値（半角）入力。単位： $\mu\text{g/L}$ 。 分析を実施した項目については、コンボボックスより「1. 実施」を選択し、「検出下限値以上」又は「検出下限未満での検出下限の値」欄のうち該当する一方に記入。分析を実施しない項目については、「2. 実施せず」を選択。 測定回数分の分析結果を記入。例えば、1回測定の場合には、「1回目の分析結果」欄に記入し、「2～5回目の分析結果」欄は記入しない。
分析結果（検出下限値以上） （検出下限未満での検出下限の値）	検出下限値以上では、JIS Z 8401によって数値を丸めて分析結果を有効数字3桁で記入。 検出下限値未満では、検出下限値を有効数字1桁で記入。

(注) 検出下限 : 例えば、空試験を行ってそれらの測定値の標準偏差の3倍相当として求める。	分析結果は必須項目。確定する際に、値の入力が行われていない場合は、必須項目という条件で、「分析結果(検出下限値以上または検出下限未満での検出下限の値)は必須項目です。該当する値を入力して下さい。」というエラーメッセージが表示される。
分析結果(参考値)	ノニルフェノール及び4-t-オクチルフェノールと同様に単位 $\mu\text{g/L}$ として記入。
分析開始月日 分析終了月日	コンボボックスより選択。 分析開始日は分析(前処理操作を含む)を開始した日。 分析終了日は定量操作を完了した日。
分析方法 使用した水	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、具体的な分析方法を記入する。
分析条件	2回以上の併行測定を行った場合には、1回目の分析条件を記入する。ただし、試料の指示値(ピーク面積等)については、測定回数分を記入する。
<測定用試料液の調製> 試料量	数値(半角)入力。単位: mL。測定回数分を記入。
試料のpH調節	コンボボックスより選択。()は具体的に記入。
抽出方法	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、具体的な分析方法を記入。
固相抽出 型式1、2 方法 速度 固相の脱水 窒素ガス その他 溶出 溶媒 量 溶出液の転溶 脱水	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、具体的な分析方法を記入。 数値(半角)入力。単位: mL/分。 コンボボックスより選択。()は具体的に記入。 具体的に記入。 コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、具体的な分析方法を記入。 数値(半角)入力。単位: mL。 コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、具体的な分析方法を記入。
溶媒抽出 塩化ナトリウム 溶媒の種類 溶媒の使用量 1回当たりの抽出時間 抽出回数 抽出液の脱水	数値(半角)入力。単位: g。 コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、具体的な分析方法を記入する。 数値(半角)入力。単位: mL。 数値(半角)入力。単位: 分。 数値(半角)入力。単位: 回。 コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、具体的な分析方法を記入する。
クリーンアップ カラムによる処理等	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、具体的な分析方法を記入する。

濃縮方法 ロータリーエバポレーター KD 窒素吹き付け その他	コンボボックスより選択。 コンボボックスより選択。 コンボボックスより選択。 具体的に記入。
定容量（測定用試験溶液量）	数値（半角）入力。単位：mL。
<GC/MS> GC 型式 MS 型式 装置型式 イオン検出法	すべての項目とも、コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、具体的に記入。
カラム 型式 内径 長さ 膜厚	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、具体的に記入。 数値（半角）入力。単位：mm。 数値（半角）入力。単位：m。 数値（半角）入力。単位：μm。
カラム昇温条件	温度（℃）、温度保持（分）、昇温速度（℃/分）、昇温回数（回）とも数値（半角）入力。5回以上の昇温を行った場合には、最終の温度と温度保持を記入。
キャリアガス条件 種類 流量 圧力	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、具体的に記入。 数値（半角）入力。 単位：コンボボックスより選択。 数値（半角）入力。 単位：コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、具体的に記入。
注入 量 注入口温度 注入方式	数値（半角）入力。単位：μL。 数値（半角）入力。単位：℃。 コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、具体的に記入。
<定量用質量数>	すべての異性体、項目とも、コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、具体的に記入。
<標準原液> 標準原液 区分 メーカー名 異性体組成比の測定方法等 組成比	コンボボックスより選択。 コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、具体的に記入。 コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、具体的に記入。 数値（半角）入力。単位：%。

<検出下限> 検出下限	数値（半角）入力。試料中の濃度（ $\mu\text{g/L}$ ）として記入。
<検量線の作成等> 定量方法	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、具
内標準物質 使用の有無 添加物質 添加量	コンボボックスより選択。 コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、 具体的に記入。 数値（半角）入力。測定用試料液への添加量（ n g ）で記 入。
サロゲート 使用の有無 添加物質 添加量 回収率	コンボボックスより選択。 コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、 具体的に記入。 数値（半角）入力。試料への添加量（ n g ）で記入。 数値（半角）入力。単位：％。
検量線の作成 作成点数 作成範囲 最小量 最大量 最高濃度の指示値	数値（半角）入力。整数。 数値（半角）入力。 GCへの注入量(n g)を記入。「ゼロ(0)」は含めない。 最小量と同じ。 数値（半角）入力。「試料の指示値」、「空試験の指示値」 と同じ単位で記入。
試料の指示値	数値（半角）入力。「検量線最高濃度の指示値」と同じ単 位で記入。測定回数分を記入
空試験の指示値	数値（半角）入力。「検量線最高濃度の指示値」と同じ単 位で記入。
<参考：分析用試料の調製> 使用した容器 使用した水	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、 具体的に記入。
分取した共通試料の量 定容量	数値（半角）入力。単位： mL 。 数値（半角）入力。単位： mL 。
分析用試料を調製してから 分析操作までの時間	数値（半角）入力。単位：分。
分析実施にあたっての留意した点 及び問題と感じた点	150文字以内で簡潔に記入する。
計算式	150文字以内で記入する。原則として、分析条件に記載されてい る用語を用いて記入する。記入例は、水質試料1（カドミウム）を 参照する。

4-6 分析結果報告書 [6]

分析結果報告書[6]の入力方法の詳細を記します。

表4-6 水質試料2 (直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩 (LAS))
(分析結果報告書 [6])

測定回数	1~5の整数 (半角) 入力。 分析用試料のはかり取りからLC/MS/MSの測定までの一連の操作を行った回数 (併行測定の回数) を記入。
分析結果	実施要領5の希釈方法に従って共通試料2を水で1000倍希釈して調製した分析用試料中の濃度 ($\mu\text{g/L}$) を記入。数値 (半角) 入力。単位: $\mu\text{g/L}$ 。 測定回数分の分について、コンボボックスより「1. 実施」を選択し、「検出下限値以上」又は「検出下限未満での検出下限の値」欄のうち該当する一方に記入。例えば、1回測定の場合には、「1回目の分析結果」欄に記入し、「2~5回目の分析結果」欄は記入しない。
分析結果 (検出下限値以上) (検出下限未満での検出下限の値)	検出下限値以上では、JIS Z 8401によって数値を丸めて分析結果を有効数字3桁で記入。 検出下限値未満では、検出下限値を有効数字1桁で記入。
(注) 検出下限 : 例えば、空試験を行ってそれらの測定値の標準偏差の3倍相当として求める。	分析結果は必須項目。確定する際に、値の入力が行われていない場合は、必須項目という条件で、「分析結果 (検出下限値以上または検出下限未満での検出下限の値) は必須項目です。該当する値を入力して下さい。」というエラーメッセージが表示される。
分析開始月日 分析終了月日	コンボボックスより選択。 分析開始日は分析 (前処理操作を含む) を開始した日。 分析終了日は定量操作を完了した日。
分析方法 使用した水	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、具体的な分析方法を記入する。
分析条件	2回以上の併行測定を行った場合には、1回目の分析条件を記入する。ただし、試料の指示値 (ピーク面積等) については、測定回数分を記入する。
<測定用試料液の調製> 試料量	数値 (半角) 入力。単位: mL。測定回数分を記入。
試料の pH調節	コンボボックスより選択。 () は具体的に記入。
抽出方法	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、具体的な分析方法を記入。
固相抽出 型式1、2	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、

方法 速度 固相の脱水 吸引等 その他 溶出 溶媒	具体的な分析方法を記入。 数値（半角）入力。単位：mL／分。 コンボボックスより選択。（ ）は具体的に記入。 具体的に記入。 コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、 具体的な分析方法を記入。
量 溶出液の転溶 脱水	数値（半角）入力。単位：mL。 コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、 具体的な分析方法を記入。
定容量（測定用試験溶液量）	数値（半角）入力。単位：mL。
< LC / MS / MS > LC メーカー・型式	すべての項目とも、コンボボックスより選択。「その他」 を選んだ場合には、具体的に記入。
試料注入量	数値（半角）入力。単位：μL。
カラム 充てん剤 種類 粒子径 内径 長さ	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、 具体的に記入。 数値（半角）入力。単位：μm。 数値（半角）入力。単位：mm。 数値（半角）入力。単位：mm。
移動相 種類 水溶液の濃度	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、 具体的に記入。 数値（半角）入力。単位：%。
グラジエント	コンボボックスより選択。「行う」を選んだ場合には、方 法を具体的に記入。
流量	数値（半角）入力。単位：mL／分。
カラム槽 温度	数値（半角）入力。単位：℃。
MS / MS メーカー・型式	すべての項目とも、コンボボックスより選択。「その他」 を選んだ場合には、具体的に記入。
イオン化 方法	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、 具体的に記入。
検出 方法	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、 具体的に記入。
< 定量用質量数 >	すべての物質とも、コンボボックスより選択。「その他」 を選んだ場合には、具体的に記入。
< 標準原液 > 標準原液 区分 メーカー名	コンボボックスより選択。 コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、 具体的に記入。
< 検出下限 > 検出下限	数値（半角）入力。試料中の濃度（μg / L）として記入。

<検量線の作成等> 定量方法	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、具
内標準物質 使用の有無 添加物質 添加量	コンボボックスより選択。 コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、 具体的に記入。 数値（半角）入力。測定試験液への添加量（n g）で記入。
サロゲート 使用の有無 添加物質 添加量 回収率	コンボボックスより選択。 コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、 具体的に記入。 数値（半角）入力。試料への添加量（n g）で記入。 数値（半角）入力。単位：％。
検量線の作成 作成点数 作成範囲 最小量 最大量 最高濃度の指示値	数値（半角）入力。整数。 数値（半角）入力。 LCへの注入量(n g)を記入。「ゼロ(0)」は含めない。 最小量と同じ。 数値（半角）入力。「試料の指示値」、「空試験の指示値」 と同じ単位で記入。
試料の指示値	数値（半角）入力。「検量線最高濃度の指示値」と同じ単 位で記入。測定回数分を記入
空試験の指示値	数値（半角）入力。「検量線最高濃度の指示値」と同じ単 位で記入。
<参考：分析用試料の調製> 使用した容器 使用した水	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、 具体的に記入。
分取した共通試料の量 定容量	数値（半角）入力。単位：m L。 数値（半角）入力。単位：m L。
分析用試料を調製してから 分析操作までの時間	数値（半角）入力。単位：分。
分析実施にあたっての留意した点 及び問題と感じた点	150文字以内で簡潔に記入する。
計算式	150文字以内で記入する。原則として、分析条件に記載されてい る用語を用いて記入する。記入例は、水質試料1（カドミウム）を 参照する。

4-7 分析結果報告書 [7]

分析結果報告書[7]の入力方法の詳細を記します。

表4-7 底質試料（有機塩素化合物）（分析結果報告書 [7]）

測定回数	1～5の整数（半角）入力。分析用試料のはかり取りからGC/MSの測定までの一連の操作を行った回数（併行測定の回数）を記入。
分析結果（詳細項目） 分析結果	数値（半角）入力。単位： $\mu\text{g}/\text{kg}$ 。 分析を実施した項目については、コンボボックスより「1. 実施」を選択し、「検出下限値以上」又は「検出下限未満での検出下限の値」欄のうち該当する一方に記入。分析を実施しない項目については、「2. 実施せず」を選択。 測定回数分の分析結果を記入。例えば、1回測定の場には、「1回目の分析結果」欄に記入し、「2～5回目の分析結果」欄は記入しない。
分析結果（検出下限値以上） （検出下限未満での検出下限の値）	検出下限値以上では、JIS Z 8401によって数値を丸めて分析結果を有効数字3桁で記入。 検出下限値未満では、検出下限値を有効数字1桁で記入。
（注）検出下限：例えば、空試験を行ってそれらの測定値の標準偏差の3倍相当として求める。	分析結果は必須項目。確定する際に、値の入力が行われていない場合は、必須項目という条件で、「分析結果（検出下限値以上または検出下限未満での検出下限の値）」は必須項目です。該当する値を入力して下さい。」というエラーメッセージが表示される。
分析結果（参照項目） 分析結果	詳細項目と同様に単位 $\mu\text{g}/\text{kg}$ として記入。 ただし、複数回測定では、分析結果は代表値（例えば、平均値）として、ひとつを記入。
分析開始月日 分析終了月日	コンボボックスより選択。 分析開始日は分析（前処理操作を含む）を開始した日。 分析終了日は定量操作を完了した日。
分析方法	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、具体的な分析方法を記入する。
分析条件	2回以上の併行測定を行った場合には、1回目の分析条件を記入する。ただし、試料の指示値（ピーク面積等）については、測定回数分を記入する。
<測定用試料液の調製> 試料量	数値（半角）入力。単位：g。測定回数分を記入。
試料からの抽出方法	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、具体的な分析方法を記入。

アセトン抽出ー液・液抽出 試料からの抽出 溶媒の種類 1 回当たりの溶媒の使用量 1 回当たりの抽出時間 振とう 超音波 遠心分離 抽出回数 液・液抽出 溶媒の種類 1 回当たりの溶媒の使用量 1 回当たりの抽出時間 振とう 抽出回数	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、具体的な分析方法を記入。 数値（半角）入力。単位：mL。 数値（半角）入力。単位：分。 数値（半角）入力。単位：分。 数値（半角）入力。回転数（r p m）と時間（分）。 数値（半角）入力。単位：回。 コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、具体的な分析方法を記入。 数値（半角）入力。単位：mL。 数値（半角）入力。単位：分。 数値（半角）入力。単位：回。
アセトン、トルエンソックスレー抽出 アセトンソックスレー抽出 実施の有無 溶媒の使用量 抽出時間 トルエンソックスレー抽出 実施の有無 溶媒の使用量 抽出時間 転溶溶媒	コンボボックスより選択。 数値（半角）入力。単位：mL。 数値（半角）入力。単位：分。 コンボボックスより選択。 数値（半角）入力。単位：mL。 数値（半角）入力。単位：分。 コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、具体的な分析方法を記入。
クリーンアップ	すべての項目とも、コンボボックスより選択。 「その他」では、具体的な分析方法を記入。
濃縮方法	すべての項目とも、コンボボックスより選択。 「その他」では、具体的な分析方法を記入。
定容量（測定用試料液量）	数値（半角）入力。単位：mL。
<GC/MS> GC 型式 MS 型式 装置型式 イオン検出法	すべての項目とも、コンボボックスより選択。 「その他」を選んだ場合には、具体的に記入。
カラム 型式 内径	コンボボックスより選択。 「その他」を選んだ場合には、具体的に記入。 数値（半角）入力。単位：mm。

長さ 膜厚	数値（半角）入力。単位：m。 数値（半角）入力。単位：μm。
カラム昇温条件	温度（℃）、温度保持（分）、昇温速度（℃/分）、昇温回数（回）とも数値（半角）入力。5回以上の昇温を行った場合には、最終の温度と温度保持を記入。
キャリアーガス条件 種類 流量 圧力	コンボボックスより選択。 「その他」を選んだ場合には、具体的に記入。 数値（半角）入力。 単位：コンボボックスより選択。 数値（半角）入力。 単位：コンボボックスより選択。 「その他」を選んだ場合には、具体的に記入。
注入量 注入口温度 注入方式	数値（半角）入力。単位：μL。 数値（半角）入力。単位：℃。 コンボボックスより選択。 「その他」を選んだ場合には、具体的に記入。
定量用質量数	コンボボックスより選択。 「その他」を選んだ場合には、具体的に記入。
<標準原液> 標準原液 区分 メーカー名	コンボボックスより選択。 コンボボックスより選択。 「その他」を選んだ場合には、具体的に記入。
<検出下限> 検出下限	数値（半角）入力。 試料中の濃度（μg/kg）として記入。
<検量線の作成等> 定量方法	コンボボックスより選択。 「その他」を選んだ場合には、具体的に記入。
シリンジパイプ 使用の有無 添加物質 添加量	コンボボックスより選択。 コンボボックスより選択。 「その他」を選んだ場合には、具体的に記入。 数値（半角）入力。 測定用試料液への添加量（ng）で記入。
サロゲート 使用の有無 添加物質 添加量 回収率	コンボボックスより選択。 コンボボックスより選択。 「その他」を選んだ場合には、具体的に記入。 数値（半角）入力。試料への添加量（ng）で記入。 数値（半角）入力。単位：%。
検量線の作成 作成点数	数値（半角）入力。整数。

作成範囲 最小量	数値（半角）入力。 GCへの注入量(n g)を記入。「ゼロ(0)」は含めない。
最大量	最小量と同じ。
最高濃度の指示値	数値（半角）入力。「試料の指示値」、「空試験の指示値」と同じ単位で記入。
試料の指示値	数値（半角）入力。「検量線最高濃度の指示値」と同じ単位で記入。測定回数分を記入
空試験の指示値	数値（半角）入力。「検量線最高濃度の指示値」と同じ単位で記入。
分析実施にあたっての留意した点及び問題と感じた点	150文字以内で簡潔に記入する。
計算式	150文字以内で記入する。原則として、分析条件に記載されている用語を用いて記入する。記入例は、水質試料1（カドミウム）を参照する。

4-8 分析結果報告書 [8]

分析結果報告書[8]の入力方法の詳細を記します。

表4-8 底質試料（砒素）（分析結果報告書 [8]）

○測定回数

測定回数	1～5の整数（半角）入力。分析用試料のはかり取りから吸光度等の測定までの一連の操作を行った回数（併行測定の回数）を記入。
------	--

○分析結果

	数値（半角）入力。単位：mg/kg。土壌1kgあたりの重金属類のmgとして記入。 測定回数分の分について、コンボボックスより「1. 実施」を選択し、「検出下限値以上」又は「検出下限未満での検出下限の値」欄のうち該当する一方に記入。例えば、1回測定の場合には、「1回目の分析結果」欄に記入し、「2～5回目の分析結果」欄は記入しない。
分析結果（検出下限値以上）	検出下限値以上では、JIS Z 8401によって数値を丸めて分析結果を有効数字3桁で記入。
（検出下限未満での検出下限の値）	検出下限値未満では、検出下限値を有効数字1桁で記入。
（注）検出下限：例えば、空試験を行ってそれらの測定値の標準偏差の3倍相当として求める。	分析結果は必須項目。確定する際に、値の入力が行われていない場合は、必須項目という条件で、「分析結果（検出下限値以上または検出下限未満での検出下限の値）」は必須項目です。該当する値を入力

	して下さい。」というエラーメッセージが表示される。
--	---------------------------

○分析方法等

開始月日 終了月日	コンボボックスより選択。 開始日は分析（すべての操作を含む）を開始した日。 分析終了日は定量操作を完了した日。
分析方法 使用した水	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、具体的な分析方法を記入。

○1. 試料液（1mol/L塩酸溶出液）の調製

（併行測定のために複数測定では下記は概略同様であり、1回目を記入する。）

<試料液> 容器 種類 容量 試料（土壌）量 塩酸（1mol/L）種類 使用量	すべて、コンボボックスより選択。 「その他」を選んだ場合には、その量等を具体的に記入。
<振とうまでの放置時間> 試料液の調製から振とうまでの放置時間	数値（半角）入力。単位：時間。試料液の調製後直ちに振とう
<振とう> 容器の置き方／振とう方向 気温 気圧 振とう機 振とう回数 振とう幅 振とう時間 方法	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、具体的に記入。 数値（半角）入力。単位：℃。振とう開始時の気温（室温）の概略値を記入する。 数値（半角）入力。単位：気圧。振とう開始時の気圧の概略値を記入する。 数値（半角）入力。単位：回／分。 数値（半角）入力。単位：cm。 コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、時間又は方法を具体的に記入。
<振とう後の放置時間> 振とうからろ過までの放置時間	数値（半角）入力。単位：時間。振とう後直ちにろ過した場合には0（ゼロ）時間とする。30分では0.5時間とする。
<ろ過> る紙 方法	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、具体的に記入。

<試料液の調製後> 試料液調製から検定までの時間 試料液の保存状況 酸の添加 保存方法 保存温度	数値（半角）入力。単位：時間。溶出液作成後直ちに分析に必要な量をはかり取った場合には、0（ゼロ）時間とする。コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、具体的に記入。 数値（半角）入力。単位：℃。
--	---

○2. 検定の操作（各項目の分析方法）

（併行測定のために複数測定では下記は概略同様であり、1回目を記入する。ただし、試料の指示値（吸光度、ピーク高さ等）については、測定回数分を記入する。）

<前処理（試験溶液の調製）> 前処理 試料液の量 酸の量 硝酸等 その他 装置 前処理後の定容量	コンボボックスより選択。 数値（半角）入力。単位：mL。 数値（半角）入力。単位：mL。使用しない場合は「0」。希釈した酸、例えば硫酸（1+1）を使用した場合には、硫酸に換算して記入。 具体的な酸の名称と使用量を記入。 コンボボックスより選択。
<水素化物発生法の予備還元等> 試験溶液の分取量 予備還元を試薬 塩酸、よう化カリウム等 その他 予備還元の時間 予備還元の温度 予備還元の溶液（定容量） 還元剤 水素化物の導入方法 水素化物の導入方法（連続式）	数値（半角）入力。単位：mL。 コンボボックスより選択。「1. 使用する」を選択した場合には、その溶液濃度（mol/L又はg/L）及び添加量（mL）を記入。具体的な試薬の名称と使用量を記入。 数値（半角）入力。単位：分。 コンボボックスより選択。温度（分）を数値（半角）入力。 コンボボックスより選択。量（mL）を数値（半角）入力。 コンボボックスより選択。（ ）内には具体的に記入。 コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、具体的に記入。 コンボボックスより選択。（ ）内には具体的に記入。
<原子吸光法、ICP発光分光分析法> 原子吸光装置 水素化物の導入 バックグラウンド補正 測定波長	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、具体的に記入。 数値（半角）入力。単位：nm。

ICP発光分光装置 型式	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、具体的に記入。
バックグラウンド補正	コンボボックスより選択。
超音波ネブライザーの使用	コンボボックスより選択。
測定時間	数値（半角）入力。単位：秒。
測定波長	数値（半角）入力。単位：nm。
<ICP質量分析法>	
試験溶液の希釈 希釈倍率	希釈倍率入力。希釈しない場合には、「1」。
ICP質量分析計 メーカー型式	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、具体的に記入。
スペクトル干渉の低減又は補正 質量分析計	コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、具体的に記入。
コリジョン・リアクションセル 使用ガス	コンボボックスより選択。
ガスの流量	数値（半角）入力。単位：mL/分。
水素化物発生	コンボボックスより選択。
補正式による補正	コンボボックスより選択。 補正式による補正を行った場合には、補正前と補正後の指示値について「イオンカウント値」等、数値（半角）入力。
その他	コンボボックスより選択。「行う」を選んだ場合には、具体的に記入。
超音波ネブライザーの使用	コンボボックスより選択。
測定時の分解能	数値（半角）入力。単位：なし。
積分時間	数値（半角）入力。単位：秒。
質量数	数値（半角）入力。単位：なし。
<吸光光度法>	
吸収液	コンボボックスより選択。「行う」を選んだ場合には、具体的に記入。
測定波長	数値（半角）入力。単位：nm。

<p><検量線の作成等></p> <p>定量方法 方法 内標準物質の種類</p> <p>検量線の作成 作成点数 作成範囲 最小濃度 最大濃度 最高濃度の指示値</p> <p>試料 指示値</p> <p>空試験 指示値</p> <p>検出下限値</p>	<p>コンボボックスより選択。</p> <p>コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、具体的に記入。</p> <p>数値（半角）入力。整数。</p> <p>数値（半角）入力。原子吸光法等で測定する溶液中の濃度(mg/L)を記入。「ゼロ(0)」は含めない。</p> <p>数値（半角）入力。単位：最小濃度と同じ。</p> <p>数値（半角）入力。「試料の指示値」、「空試験の指示値」と同じ単位で記入。</p> <p>数値（半角）入力。「検量線最高濃度の指示値」と同じ単位で記入。測定回数分を記入。</p> <p>数値（半角）入力。「検量線最高濃度の指示値」と同じ単位で記入。</p> <p>数値（半角）入力。 試料中の濃度（$\mu\text{g}/\text{kg}$）として記入。</p>
<p>分析実施にあたっての留意した点及び問題と感じた点</p>	<p>「該当する分析方法（操作）」欄については、コンボボックスより選択し、「その他」を選んだ場合には、具体的に記入する。「その概要」欄については、150文字以内で簡潔に記入する。</p>
<p>分析結果に影響した（影響したと想定される）点</p>	<p>「該当する分析方法（操作）」欄については、コンボボックスより選択し、「その他」を選んだ場合には、具体的に記入する。「その概要」欄については、150文字以内で簡潔に記入する。</p>
<p>計算式</p>	<p>150文字以内で記入する。原則として、分析条件に記載されている用語を用いて記入する。記入例は、水質試料1（カドミウム）を参照する。</p>

4-9 アンケート

○ホームページによる分析結果報告書の作成方法に関するアンケート

ホームページからの分析結果報告書の作成に関するアンケートについては、分析結果報告書メニュー（図4-9.1参照）の右の[アンケート]ボタンをクリックすると、アンケート内容が表示されます。

アンケートの内容は、試料ごと（3区分）になっています。

報告書一覧表				
	名称	入力状態	チャート送付	アンケート
<input checked="" type="radio"/>	報告書[1]水質試料1(カドミウム)	入力中		アンケート
<input type="radio"/>	報告書[2]水質試料1(鉛)	確定		
<input type="radio"/>	報告書[3]水質試料1(砒素)	入力中		
<input type="radio"/>	報告書[4]水質資料1(亜鉛)	入力中		
<input type="radio"/>	報告書[5]水質試料2(ニルフェノール及び4-tertオクチルフェノール)	確定		アンケート
<input type="radio"/>	報告書[6]水質試料2(直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩)	入力中		
<input type="radio"/>	報告書[7]底質試料(有機塩素化合物)	入力中		アンケート
<input type="radio"/>	報告書[8]底質試料(砒素)	入力中		
調査に関するアンケート		入力中		

図 4-9.1 分析結果報告書の作成方法に関するアンケート

いずれの試料とも、質問はコンボボックスより選択します。「2」を選択した場合には（ ）内には具体的な理由又は内容を記入してください。「確定」等の操作は必要ありません。

分析結果報告書の作成時に感じた点等	1. 良い 2. 改良すべき点、問題点等がある 内容（ ）
-------------------	----------------------------------

○環境測定分析統一精度管理調査に関するアンケート

環境測定分析統一精度管理調査に関するアンケートについては、分析結果報告書メニュー(図4-9.2参照)の下部[調査に関するアンケート]ボタンをクリックすると、アンケート内容が表示されます。

質問はコンボボックスより選択し、()内には具体的に記入してください。

アンケートは、各機関ひとつの回答となります(試料ごとの回答ではありません)。

「入力状態」については、質問の回答途中では「入力中」、回答が済みましたら「入力済み」と表示されます。「確定」等の操作は必要ありません。

報告書一覧表				
	名称	入力状態	チャート送付	アンケート
<input checked="" type="radio"/>	報告書①水質試料1(カドミウム)	入力中		
<input type="radio"/>	報告書②水質試料1(鉛)	確定		アンケート
<input type="radio"/>	報告書③水質試料1(砒素)	入力中		
<input type="radio"/>	報告書④水質試料1(亜鉛)	入力中		
<input type="radio"/>	報告書⑤水質試料2(ニルフェノール及び4-tertオクチルフェノール)	確定		アンケート
<input type="radio"/>	報告書⑥水質試料2(直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩)	入力中		
<input type="radio"/>	報告書⑦底質試料(有機塩素化合物)	入力中		アンケート
<input type="radio"/>	報告書⑧底質試料(砒素)	入力中		
	調査に関するアンケート	入力中		

図 4-9.2 分析結果報告書の作成方法に関するアンケート

アンケート回答者の担当業務の区分 (ひとつを選択)	1. 環境測定分析業務の担当者 2. 環境測定分析業務の管理者 3. 環境測定分析委託業務の担当者 (委託する側の担当者) 4. 環境測定分析委託業務の管理者 (委託する側の管理者) 5. その他 ()
調査に参加する目的 (複数回答可)	1. 信頼性の確保、精度の確認等 2. 分析方法・分析技術・分析機器の確認・改善等 3. 外部精度管理として (入札に対応) 4. 外部精度管理として (ISOに対応等) 5. 他機関との比較・情報交換 6. 職員の教育等 7. その他 ()
調査の効果 (ひとつを選択)	1. 精度の確認が出来た (できる) 2. 分析技術の再確認、向上が出来た (できる) 3. 分析者の意識の向上、レベルアップとなった (なる) 4. 問題点の検討、課題の確認が出来た (できる) 5. 他の機関の動向を知る、また比較が出来た (できる) 6. 顧客の信頼とPR になった (なる) (入札資格取得に利用) 7. その他 ()

これからの調査の必要性、あり方 (ひとつを選択)	1. このままの調査方法で継続する 2. 改善を行う必要がある 3. その他 ()
その他 (自由記載)	本調査に関する希望する事項があれば記入してください。 ()